

新型コロナウイルスからも身を守るために



災害に備えよう

■問い合わせ先
安全安心課
☎(32)8894



イベント

お知らせ

募集

就職

相談

相談

相談

早めの防災対策・避難行動を

大雨や台風のとときには、増水した川など、危険な場所には近づかないようにしましょう。避難する時も安全なルートを通して移動できるようにしましょう。日頃から「下野市洪水ハザードマップ」で危険箇所を確認しておきましょう。

また、ハザードマップを確認することは重要ですが、過信は禁物です。

ハザードマップで危険な地域になっていなくても、「うちは大丈夫」「まだ大丈夫」と甘くみないで、早めに避難行動をとりましょう。

新型コロナウイルス感染症の影響下での「避難」

新型コロナウイルス感染症が収束する前に、地震、風水害が起きたらどうなるのか。平時から準備し、災害時の対応を考えておきましょう。

自宅や親戚宅での避難も検討しましょう

避難所が密集した状態になると、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大することが懸念されます。

また、災害時には断水で手指の流水洗浄ができない可能性もあり、避難所という密集した環境下での集団生活で、新型コロナウイルス感染症だけでなく、ノロウイルス等による感染性胃腸炎やインフルエンザなどの感染が拡大するリスクが高まります。

「避難」とは「難」を「避」けることです。自宅での安全確保が可能な場合、感染リスクを負ってまで避難所に行く必要はないでしょう。また、避難先は市が開設する避難所だけとは限りません。安全な親戚・知人宅に避難することも検討しましょう。

本当に避難所に行く必要のある方を適切に受け入れられるよう、ご協力ください。

避難所での新型コロナウイルス感染症対策

手洗い・咳エチケット等の基本的な対策の徹底

断水等の影響がない場合、こまめな手洗い、咳エチケット等の基本的な感染症対策を徹底しましょう。

避難所の衛生環境の確保

物品等を定期的に家庭用洗剤で洗浄するなど、避難所の衛生環境をできる限り整えましょう。

物品はできる限りご自分で

市の備蓄品には限りがあります。風水害のときなど、時間的に余裕がある避難の際は、自分の必要なものは自分で持って行きましょう。

避難所に持っていくことが望ましい物品

- ・マスク、タオル
- ・アルコール消毒液、ウェットティッシュ
- ・体温計
- ・毛布等の寝具
- ・スリッパ
- ・最低3日分の食料と飲料水
- ・着替え
- ・携帯ラジオ
- ・常備薬
- ・モバイルバッテリー など

十分な換気の実施、スペースの確保

避難所内は十分な換気に努めるとともに、避難者が十分なスペースが確保できるよう留意します。

発熱、咳等の症状が出た方のための専用スペースの確保

発熱、咳等の症状が出た方は、専用のスペースを確保します。できる限り個室にするとともに、専用のトイレを確保するように努めます。専用スペースやトイレは、一般の避難者のスペースとはゾーン、動線を分けますのでご協力ください。

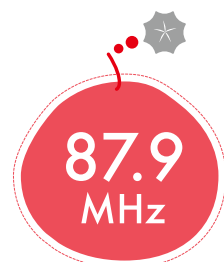
市からの情報をチェック

避難所の開設状況等の災害関係情報は、市ホームページ、FMゆうがお(87.9MHz)、とちぎテレビデータ放送、屋外拡声器、下野インフォメーションメール配信サービス等で発信しています。

※メール配信サービスは、利用前に登録が必要です。



←下野インフォメーションメール配信サービスの登録はこちらから



↑FMゆうがおをアプリやブラウザから聴くにはこちらから